

教 育 委 員 会 だ よ り

平成26年度 全国学力・学習状況調査の結果について

今年4月に町内の小学校6年生(41名)、中学校3年生(41名)を対象に行われた全国学力・学習状況調査結果の概要をお知らせします。

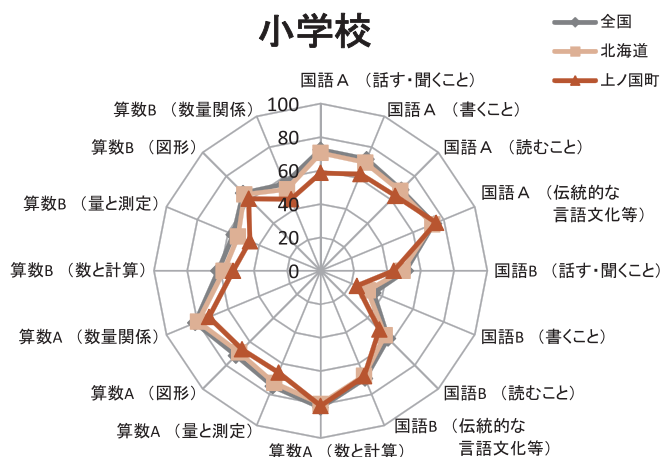
学力調査は小学校6年生の国語・算数、中学校3年生の国語・数学の各2教科でそれぞれA問題(基礎)・B問題(応用)に分けて行われました。

1. 調査の目的について

本調査は児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる事を目的としています。なお、本調査の結果は児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であり、教育活動の一側面である事に留意が必要です。

2. 調査結果の概要について

小学校



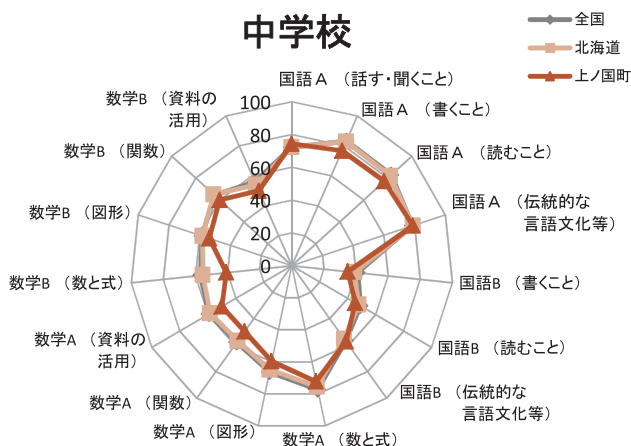
「小学校／国語」

- ・ A問題では、「伝統的な言語文化等」の領域で全国を上回っているがほかは下回っている。
- ・ B問題では、「伝統的な言語文化等」の領域で北海道を上回っているがほかは下回っている。
- ・ 文章を読み解くこと、自分の考えを文章で表現することに課題が見られる。

「小学校／算数」

- ・ A問題では、「数と計算」の領域で北海道を上回っているがほかは下回っている。
- ・ B問題では、全ての領域で全国を下回っている。

中学校



「中学校／国語」

- ・ A問題では、「話す・聞く」「伝統的な言語文化等」の領域で全国を上回っているが、ほかは下回っている。
- ・ B問題では、「伝統的な言語文化等」の領域で全国を上回っているが、ほかは下回っている。

「中学校／数学」

- ・ A問題では、全ての領域で全国を下回っている。
- ・ B問題では、全ての領域で全国を下回っている。

3. 成果と課題について

- (1)成果 小・中学校とも教科によっては平成25年度との格差を改善している。
小・中学校とも授業改善の「めあて」や「まとめ」は定着しつつある。
- (2)課題 小・中学校ともテレビやDVD、テレビゲームの時間が長い状態が続いている。
小・中学校とも平日、休日の学習時間が、全国・北海道と比べて短い状態が続いている。

4. 学力向上の取組について

児童生徒一人ひとりに「確かな学力」を確立する教科指導を充実させていくためには、各学校においては「全国学力学習状況調査」および「標準学力検査」の分析・交流、課題の焦点化に取り組み、校内研修や各種研修を深めることで、さらなる教職員の指導力の向上と指導方法などの改善を図ります。

また、一方では家庭学習の一層の充実が求められますが、小学校では「学年×10分間学習」、「家庭学習ノート」の活用、中学校においては「家庭学習の手引き」、「マイノート」の活用により、家庭や地域と学校との連携を深めながら、より充実した学習習慣の確立を図っていきたいと思いますので地域や保護者皆様のご協力をお願いします。